

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成30年11月9日（金）
全 員 協 議 会 室
10時00分～12時18分

【委 員】岡本委員長、串崎副委員長

三浦委員、川上委員、飛野委員、笹田委員、牛尾委員

【委員外】沖田、西川、小川、上野、布施、永見、佐々木、西田、澁谷

【議長団】

【執行部】

(産業経済部) ~~田村産業経済部長~~、湯淺産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、
大驛産業振興課長、岩田ふるさと寄附推進室長、坂田農林振興課長、
永見水産振興課長、戸津川漁港活性化室長、岸本観光交流課長、
川合開府400年推進室長

(都市建設部) ~~石田都市建設部長~~、三浦建設企画課長、吉川建設整備課長、鎌田維持管理課長、
吉田建築住宅課長

(金城支所) 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

(旭支所) 塚田旭支所長、今田旭支所産業建設課長

(弥栄支所) 河上弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

(三隅支所) 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

1. 執行部報告事項

- (1) 萩・石見空港の状況について
- (2) 漁業別水揚げについて
- (3) 第4回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンの実施について
- (4) コスタ・ネオロマンチカ号の浜田港への寄港について（報告）
- (5) 平成30年度 浜田開府400年記念プレ講演・座談会《第4弾》について
- (6) NTT西日本の道路占用申請漏れに伴う遡及精算について（報告）
- (7) 土砂災害特別警戒区域指定に伴う補助制度の創設について
- (8) 平成30年8月31日からの豪雨に伴う公共土木災害被害状況について
- (9) その他

2. その他

【議事の経過】

[10 時 00 分 開議]

岡本委員長 おはようございます。本日、出席委員は7名です。定足数に達しております。
ただちに調査会を開催いたします。

1. 執行部報告事項

(1) 萩・石見空港の状況について

岡本委員長 産業政策課長。
産業政策課長 (以下、資料をもとに説明)
岡本委員長 説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
飛野委員 頑張っておられるが、欠航の理由は何ですか。
産業政策課長 7月上旬の西日本豪雨で8便欠航しました。7月下旬に台風の影響で3便欠航となっております。7月全体でこれにより1031人減少しています。9月の台風21号と24号の合計6便で約700席減です。
飛野委員 不可抗力、やむを得ない部分だと思います。利用者人数はそもそも事業者側から提出される数値を明記されているのでしょうか。
産業政策課長 本日提出している資料は全て、萩石見空港利用拡大促進協議会からの資料です。
飛野委員 協議会は人数をその都度把握しているのですか。
産業政策課長 把握しています。
飛野委員 協議会として事業者側からいただいた数値を、協議会が浜田市にも出しているのではないですか。
産業政策課長 大元のデータはANAが持っていて、協議会に提供されます。協議会が構成市町に提供しています。
飛野委員 利用促進をする上で目標達成できなかったから減便するという話が出ています。しかし不可抗力的なことは加味する点があるのでしょうか。
産業政策課長 その点は協定に基づいて、年間何席としていますので、不可抗力が加味されるかは我々には分かりません。
飛野委員 こういうことは加味していただかないと困ります。もし目標達成したら逆にボーナス的なことがあるのか。締め付けが厳しい中で頑張っているのだから、意見を言っていけないといけないと思いますが。
産業政策課長 仰ることはごもっともだと思います。我々も不可抗力があったことを前面に出して言いたいですが、積極的には言えないと思います。
飛野委員 今月14日に協議会が連携してANA本社へ要望活動に行く予定です。その際に上期の報告をするので、その時に伝えたいと思います。
飛野委員 事業者側が強いのでしょうか、一生懸命やっている割に寂しいと思います。一言しっかりよろしくお願いします。
産業経済部参事 我々も同じ気持ちです。言うべきは言って、実態をANAに把握してもらった上で決定してもらえよう連携してPRします。
笹田委員 補助金の実績ですが100パーセント超えています。今年度予算が関連予算として上がっていますが、補正予算で対応するのですか。
産業政策課長 昨年実績に対して現在のトータルで100パーセントを上回っています。

	予算については今のところはまだギリギリです。もし足りない場合は財政課と相談していこうと思います。
牛尾委員	欠航が多かったとのこと。萩・石見もそろそろ、空港整備を県に求めて、天候不順でも離着陸できるようにするべきではないでしょうか。その方が近道だと思います。
産業政策課長	受入れ体制の充実については、必要な所は協議会を通じて管理者である県に要望していきたいと思います。
牛尾委員	是非、協議会で意思統一して県に要望をお願いします。
	随分頑張られて、良い検証結果が出たと思います。学校にも頑張ってもらって来年は5割増しだそうです。もう少し増えても良いような。浜田市にとっても2便維持は重要です。学校の利用が増えない一番ネックになっている原因が分かる事例があればお示しいただけますか。
産業政策課長	年間を通じて、昨年2、3回、中学校へお願いしました。皆さんご理解はいただいています、人数規模の問題と先生方の旅費の問題もあるようで、学校ごとに旅費の割り当てがあってそれが足りない、職員がついていけないという理由があるようです。大きく分けてその2つのようです。人数の問題に対しては機材の大型化で何とかクリアできるし、場合によっては別便も出すとのこと。
牛尾委員	是非その辺の実現を、更に努力をお願いします。
	一番気になっている、リムジンの乗車率はどうですか。
産業政策課長	直近の資料として9月が43回の運行で82名の利用です。
牛尾委員	1便に2人乗ったら86名ですから、2名もいかないということですか。
産業政策課長	4月の運行後の状況で、概ね1便あたり2名です。
牛尾委員	補助金が出るとはいえこれだけ利用者が少ないと、リムジンがなくなる恐れがないですか。
産業政策課長	そうならないように、これまで新聞折り込みを出したり広報に載せたり、ホームページでも周知しています。今後も引き続きPRします。
岡本委員長	他にないですか。
	(「なし」という声あり)

(2) 漁業別水揚げについて

岡本委員長	水産振興課長。
水産振興課長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
串崎副委員長	ノドグロの棒グラフがあります。今年は昨年に比べかなり少ないです。浜田市はノドグロということで売っていますが、これだけ少なくて影響がありますか。
水産振興課長	8月以降、昨年より大きいノドグロが少ないです。普段は8、9月が獲れる時期なのですが、今年は水産事務所等に聞いても、今年は群れが散らばっているのではないかと、原因がはっきりわからないということでしたが、海流の関係もあるのではと思われます。高値で取引される重要魚種です。他の魚がなかなか値が付かないのが悩みです。ノドグロ含め他の魚種も高値が付くよう、仲買と連携しながら市もやっていきたいと思っています。

串崎副委員長
水産振興課長

影響が無いとご理解させていただいてよろしいですね。

ノドグロが獲れない影響は少なからずあると思います。9月を見ても昨年から減って、3811万円減でかなり大きいです。大事な魚種です。

串崎副委員長

数量120パーセントくらい、昨年より多いようですが、棒グラフを見てもほとんど昨年より少ないです。あえて言えば剣先イカが増えています。昨年より多い魚種とは何ですか。

水産振興課長
串崎副委員長
水産振興課長

サバが明らかによく獲れています。9月もアナゴがよく獲れています。

棒グラフだけでは何がよく獲れたのか読み取れなかったのです。

昨年に比べて水揚げ量が増えているのは、No.2の地元外の中型まき網の隠岐船団が今年に入って漁場が形成されているのでよく入って来られます。水揚げ量が4月から9月まで増えているのは隠岐船団の入港が影響していると思われます。

牛尾委員

隠岐船団は船が大きいからよく知っています。やはり船も飛行機と同じで大型化を図っていかないと、天候に左右されがちになるのだと特に最近感じます。

特に最近引き合いの多いサバ、アナゴは更にブランド化して単価を上げる努力をされるべきかと思います。サバは魚体が小さいし脂の乗りが悪いです。今、鯖缶ブームで展望があると思うので、仕掛けを特化してもらって。アバウトではなく絞り込んで。アナゴは脂がのって好評だということです。絞り込んで売り込みをされたらどうですか。

水産振興課長

サバを何とかできないかということで、水産技術センターで研究されていますし、試験販売もされています。魚種を絞り込む必要があると思います。県や水産技術センター、仲買さんと連携して、ご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。

岡本委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

(3) 第4回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンの実施について

(4) コスタ・ネオロマンチカ号の浜田港への寄港について(報告)

岡本委員長
観光交流課長

2件続けて説明をお願いします。観光交流課長。

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長
串崎副委員長

説明が終わりました。(3)について委員から質疑はありますか。

募集人数が今回1500人、前回991人で約3分の1ほど増やしていらっしゃいます。それだけでは500人は増えないと思いますが。

観光交流課長

仰るとおりです。今考えているのが、Facebook広告です。Facebookだと趣味・年代が絞り込めるので効率的にPRすることであるとか、あとは広島方面に出向いてポスターやチラシを置いていただく。広島事務所PRセンターやコンビニにチラシを置いていただくよう活動しています。実績から考えると高い目標ではあります。

串崎副委員長

7番目におもてなし協力店とあります。状況について詳しくお願いします。

観光交流課長

おもてなしプランは第1回から実施していますが利用実績が少ないのが悩みです。お店側にもメリットがないとマラソンに対しての協賛がいただけない。活性化を願っています。これまでの例は居酒屋でワンドリ

串崎副委員長
観光交流課長

ンクサービスとか、宿泊するとプレゼントを差し上げるということなのですが、それだけではお客さんも動いてもらえない。周知方法も悪かったのかもしれませんが、引き続き分析して、おもてなしの取組に過去参加いただいたお店にもヒアリングしたいと思っています。

協力店は何軒あるのですか。

まだこれからなので、今年度はまだですが、昨年度は約30軒のお店にご協力いただきました。

川上委員
観光交流課長

受託者が松江の業者なのですが浜田でできなかったのでしょうか。

プラスバリューという会社です。浜田以外でも松江の温泉や大田の温泉津でも取り組み実績があります。ネットでも申し込みが出来るなど精通しています。我々がゼロからやるところに手を掛けずにできます。もともとプラスバリューから提案がありました。浜田ではやりにくいこととプラスバリューにノウハウがあるということで、今回もお願いしようと思います。

川上委員

もう4回目ならノウハウが分かるでしょう。地元企業を探して内輪でやれるようにしていただきたいのですが。

観光交流課長

プラスバリューさんも全て委託ではなく、一部我々でやっていることがあります。看板は浜田市内の事業者を使ってもらっています。最終的に浜田市でできる方向で検討しています。

川上委員
観光交流課長
三浦委員

全て地域で賄えるようにしていただきたいと思います。

そのように出来るよう努力します。

リレーマラソンの目的として交流人口拡大を狙っているとの話ですが、市外からの参加がどのくらいで、前泊後泊をされて複数日数滞在される方がどのくらいおられますか。

観光交流課長

実績については昨年が124チーム中、浜田市内が79チーム、市外が45チーム。割合で言うと市外が約37パーセントくらいです。宿泊されたかは、施設側がリレーマラソン参加者とそれ以外とが把握できなかったため分かりません。

三浦委員
観光交流課長

リレー参加の証拠を提示してのプランではないのですか。

プログラムの中にプランがあるのですが、それを提示してもらうことにより特典を適応するということです。

三浦委員
観光交流課長

そうすると数字は把握できるのではないですか。

プランの利用件数は把握できます。手元に資料がないので後ほど回答させていただきます。

三浦委員

参加者の40パーセント近くが市外からの参加なので、今後もっと市外からの交流人口を増やす予定ですか。

観光交流課長

おっしゃるとおり、市外・県外からの参加者を増やしていきたいと思っています。

三浦委員
観光交流課長

市内の方々に、例えば団体参加を促すアナウンスはされていますか。

まだ団体の会合に出向いてのPRは出来ていませんが、今後実施していくことにしています。

三浦委員

地元が盛り上がって、それを見て市外・県外の方が反応されると思います。市内参加者をもっと増やして、地元が盛り上がる取り組みがまだやれるのではないのでしょうか。Facebook等を拝見すると、このリレーマ

	ラソンが他とどう違うのか見えにくいです。リユース食器を使うことは素晴らしい取り組みですが、参加者にとっては風景のすばらしさとか、沿道の応援者の方、食器より料理にフォーカスされたりなど、良さが伝わってきにくいため、他のリレーマラソンと何が違うのか伝わりにくいです。Facebookでは情報が流れていきやすいです。折角の取り組みですし、目標も1.5倍とのことなので、コストをかけなくても出来る事があると思うので、取り組まれると良いと思います。
観光交流課長 牛尾委員	いただいたご提案を活かしていきたいと思います。 去年3月3日の土曜にやっていますが、日程が悪くて参加したいのに出来ないという声が結構多かった気がします。今年も同様の日程なので、配慮されなかったのかなと思いました。
観光交流課長	2月下旬に実施したことが天候の心配があるので3月に入ってからの方が良いと思って、3月の第一週の土曜に、昨年も今年も決めました。市内の方が参加しにくいという声はあったので、なるべく早く日程を決めたのですが、今後についても配慮して考えたいと思います。
牛尾委員	配慮はされたけど日程が変わらないなら、配慮したことにならないです。 浜田港リレーマラソンのオリジナリティを出していただきたいと思います。愛好家は全国色んなイベントに参加しているようです。この前川越まつりに行きましたが、おもてなしコーナーがありましたが一升瓶に酒を注いでもらったりとか。お金をかけなくても、お魚センターの2階などで安い会費でおもてなしをする仕掛けがあれば、ちょっと違うのではないかなと。
観光交流課長	今回開府400年があるので、ポロシャツの景品があるとか、交流人口をどんどん増やすなら次へ繋がる仕掛けを組み込まないと。数年後に止めようかという流れにならないような工夫をして欲しいのですが。
牛尾委員	良いアイデアをいただいたので是非検討したいと思っています。JFしまね、お魚センターや漁商さんも入っています。水産浜田を象徴するような、お金をかけない仕掛けのアイデアに頭をひねっていききたいです。
笹田委員	地域間交流は人です。お金はいらない。人と絡むことが次へ繋がると思います。是非、課長にリーダーシップ取ってもらって、やってください。
観光交流課長	実は松江の会社の社長と知り合いで、浜田で盛り上げたいと話があって、松江や大田の実績があるので、すぐ開けると言われて。当時の中村部長につないで、市長もぜひ人口交流を増やそうということで始まった。4回目で、交流人口の拡大にもなっています。いつも言われるのが「参加費が高い」ということです。小学校が参加できない。地元小中学校からも補助を出してでも参加してもらうことは考えられなかったのでしょうか。
	参加料が高いという声があったことは聞いています。大人が3500円。大学生は2500円。高校生中学生以下は1500円。おもてなし部分を協賛金とプラスして、参加費をプラスして何か出来ないかというところで。お金をかけなくても出来る事が一番望ましいですが、予算配分を考えています。今回は参加費3500円でやらせていただきますが、できれば3000

円くらいでできないかと思っています。反省点の中から次年度に向けて考えたいと思います。

中学生以下で1500円です。小学生は実質参加者がいないので。他のマラソンを見るとファミリー部門があるので、1000円なり700円なり、設けるのも手かなと思います。

笹田委員

小学校のことが何も書いてないので、参加出来ないように見えます。浜田も陸上教室の先生が頑張って長距離の駅伝チームもあります。そういったところに声をかけていくとか、金城も陸上頑張っています。危険度が高いといった理由が無い限り、小学生にも参加をもっと呼び掛けて良いのではないですか。

観光交流課長

チラシの記載内容に配慮が足りなかったと思います。チラシ、ポスターの修正は難しいと思いますが、ホームページの記載は直せるので訂正しようと思います。

笹田委員

3月は風が強い日もあります。仮装について心配しています。

10月1日からの応募ですが、今どういう状況ですか。

観光交流課長

数字はまだ上がってきていません。月イチで取りまとめます。例年ではこの時期はほんの数件です。1、2週間前までは数十件くらいで、駆け込み応募が多いです。

岡本委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

暫時休憩したいと思います。再開を11時20分とします。

[11時 10分 休憩]

[11時 20分 再開]

岡本委員長

会議を再開します。先ほどリレーマラソンの質問に対して答弁ができなかった部分を申し上げたいということがあります。

観光交流課長

おもてなしプランについての件数ですが、昨年の参加者に対してアンケートを大会後に送りました。送付件数が109件。その内69件のチームの代表の方に回答をいただきました。大会後に打ち上げを行ったかという問いに、行ったという方が109件のうち44件。行っていないという方が24件。その他で1件。大会後に宿泊をしたかという問いに対しては、したという方が9件。していないという方が57件。未回答その他が3件。おもてなし宿泊プラン、打ち上げプランを利用したかという問いに対しては、利用したという方が9チーム。利用しなかったという方が59チームです。前日に食事会をしたという方もいましたので、プランの拡充を今後していきたいと思います。10月末現在の応募数ですが、3件です。

岡本委員長

(4) について質疑はありますか。

三浦委員

アンケートを拝見すると結構シビアな結果です。今後こういった寄港の誘致活動はもっとしていくのでしょうか。今回の寄港を経てどのように考えておられますか。

観光交流課長

今後もクルーズ誘致は進めていきたいと思っています。ただ、貿易港浜田港なので、積み荷を降ろしており、地元の港で受け入れ体制をとられる日数が限られており、年間5回程度を目標にしています。来年度も

産業振興課長

三浦委員

観光交流課長

三浦委員

産業経済部参事

コスタは来る予定です。国内線や海外線について規模の大きさによっていろいろなクルーズ船がありますので島根県とも一緒になって誘致していきます。

現状、港の貿易実態で5回が限度となっています。今後港湾計画で拡充していく予定です。誘致は小型客船も一緒にしていきたいと思います。

誘致は良いことだと思いますが、アンケート結果を見る限り受入れ体制に疑問が残ります。体制が整わないまま誘致活動を進めていくというのは浜田市のブランドを外に向けて発信していくことにプラスにならない気がします。文面から見るに満足度が低いです。浜田市に寄って良かったと思う人は恐らくゼロであったと想像します。プロモーションもかけられません。通訳体制がどうか、おもてなしツアーの満足度を高めるために何ができるかを考えないと、マイナスイメージを与えたら意味がないです。誘致活動を続けるなら体制づくりにもっと力を入れないと効果が出ません。どうお考えですか。

ご指摘はごもっともだと思いますが、かといって何もやらないのは、折角クルーズを3回企画してもらいましたし、悪天候の際に急遽寄っていいかという問い合わせも3件ありました。行政だけでなく商店街・市民の皆さんとやっていかないとはいけません。やって初めて課題が見える場合もあります。課題を1つずつ潰していくしかないと考えています。来年は日曜なので、駅前も定休日の店が多いです。来年は今回より良いおもてなしが出来るよう努力していきます。

5回が少ないとは思いません。そもそも船がつかない港がほとんどです。寄港できるところがあるのは浜田の大変大きな資源です。それを活用していくことは賛成です。コスタネオロマンチカに入港してもらってどんなおもてなしをするかではなくて、外国人の方が浜田を訪れた時の体制整備を考えるべきだと思います。そもそも観光施策をどうするかということをしきりと準備しておけば、こういった船が寄港したときもおもてなしのサービスの向上が図られると思います。5回にあわせて何かをするのではなく、浜田の観光の受け入れ体制をどうつくっていくのかということを考えるほうが他への波及効果があると思います。浜田に来て良かったと思ってもらえるよう、全体でのおもてなし施策を進めていっていただきたいです。

ご意見ごもっともです。補足させていただくと、今回初めて外国船籍の船が入りました。船会社に話を聞くと、世界のクルーズ船が停泊できる地図のなかに浜田は載っていません。実績がないからです。今後、よっていただくことで加わる可能性があります。世界に認知されると徐々に来てくれるようになる。まず浜田港を地図に載せて認知してもらうことが重要です。

今回のコスタはカジュアルクラスです。ツアーしていただくのは船会社が企画したツアーが最優先です。こちらから提案する地元ツアーは船が着いてからPRするという非常に難しいところがあります。こちらが思うようにPR出来ないの、いかにお客をひっぱるか大変苦慮しています。反省を活かして新たな取り組みをしていく。コスタに合わせないとならない状況でもあります。取り組みは浜田市だけでなく近隣町村や

牛尾委員

県も含めて、手探りでやっています。大型船のコスタは、コンテナ船との兼ね合いもあるので上限はありますが、ラグジュアリークラスの外国船が寄港に繋がるなら別の取り組みもあると思います。

7月と10月に岸壁で迎えました。コスタは浜田港に接岸するので、ある程度、国や目的を絞ったおもてなしができるという可能性がありますが、船会社の利益が最優先。地元の方は頑張っているけど惨憺たる状況で気の毒でした。私は7月現場でお手伝いをしました。10月には旅館組合の会長に朝から来てほしいと言いました。行かないとどういったビジネスチャンスがあるかわからないということで現場に行きました。地元にお金を落としてもらわないと意味がないので、何とか地元が食いつくことをやるべきだと思う。10月は益田の観光協会が中世の食体験20名限定コースに2名の応募でした。

ウェルカムの横断幕は英語とハングルで書いていましたが、お客さんはイタリア、フランス、ロシアでした。受け入れ体制をチームつくって鍛えなおす。行政だけでやることなのかという気もします。民間でしか気づけないサービスもあります。利益がでる可能性がある業界も入れたら、良いおもてなしが出来るマニュアルをつくらないと。船会社はもうかる。公費の吐き出しだけになるならやらない方がよいと言われかねない。ホテルや旅館組合を入れてお金が落ちるような仕掛けをしていかないと。益田は甲冑を着た方が1人いました。結構人気で写真撮影されていました。吉賀の人が5、6人のぼりをもっていました。どうしたのかと聞きたいところ町が行ってくれといわれたからきたと言っていた。ビジネスライクに考えるような受け皿をつくらないと続かないと思います。食い逃げだけは阻止しないと。行政だけでは無理があるので民間も入れて、関わった者の売り上げがあるような体制をつくらないと。これは的を絞ったインバウンドです。船に乗ってこられるわけです。新年度に向けて是非つくって欲しいのですが。

観光交流課長

ごもつともです。おもてなしに四苦八苦しています。行政だけでやってもつまらないですし、民間の方にもぜひ入ってもらって、ビジネスチャンスを見つけていただきたい。今回は商工会議所の観光部会、運輸部会の方に船内見学をしてもらって合わせて港の様子をみてもらうことで何が出来るか、港の観光は観光協会と行政でやりましたが、そこに民間にも入ってもらって実利部分を考えていただきたい。なるべく早くそうなるよう組織体制を整えて前向きに進みたいと思います。

笹田委員

先日、日本テレビで石見神楽が出た時に、浜田駅前に人が居ないと批判されていました。なぜ浜田駅を拠点にされたのか伺います。

観光交流課長

1、2回目、今回3回目です。1、2回目はお魚センターでした。浜田でにぎわっているところはどこだろうと中心部に行ってみたいという要望がかなりありました。それなら浜田駅に行ってもらおうということになりました。しかし水曜だったので心配をしていました。それでは賑やかしに浜田駅前で神楽をやれば良いのか。前向きに考えるのであれば駅前商店街の皆さんに少しでもいいので関わっていただきたい。後でお店の方に聞いてみたのですが、普段外国人の方がきたこともないようなお店、ホテル松尾やみずほ楽器に行かれたということもありました。お

笹田委員

店の方にも興味を持っていただき、今度来るのならこういったことをやってみようかというような前向きなことに進めばちょっとずつレベルアップできれば。整備だけならお金でどうにかなるかもしれませんが、そこはお金ではどうにもならない、皆のやる気の話なので皆さんの意欲を高められるような機会はもうけていきたい。皆さんのアイデアを取り入れていきたいと思います。

観光交流課長

今回こうして色んな課題もありながら、一番大事にしないといけないのはインバウンド対策です。今のままだと、こういう話を聞くと、インバウンド対象都市にならないのではないかと思います。浜田と言えば外国の方に誇れる所もあります。インバウンド対策として通用するところがあるか、あればどこなのか。調査、もしくは研究もこれを機に必要ではないかと思います。

岡本委員長

インバウンド対策で、今回港に関わって色んなことが分かったのと、我々がアピールしたいことと外国の方が興味を持っていることにギャップがあることが分かりました。他の港でやっていることも調べましたが、折り紙教室、着物の着付けなど、そんなことで良いのかということを他の町がやっておられます。ギャップも把握しながら進めたいです。そもそものインバウンド対策の根本的なところを進めていきたいと思います。他にありますか。

(「なし」という声あり)

(5) 平成30年度 浜田開府400年記念プレ講演・座談会《第4弾》について

岡本委員長

開府400年推進室長。

開府400年推進室長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

説明が終わりました。委員から質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

(6) N T T 西日本の道路占用申請漏れに伴う遡及精算について (報告)

(7) 土砂災害特別警戒区域指定に伴う補助制度の創設について

(8) 平成30年8月31日からの豪雨に伴う公共土木災害被害状況について

岡本委員長

3件まとめて説明をお願いします。維持管理課長。

維持管理課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

説明が終わりました。(6)について委員から質疑はありますか。

笹田委員

精算額の計算方法が分からないのですが。占用料の5パーセントだと利息が300万にならないです。10年前は50パーセントまで遡るということになるのですか。金利の5パーセントになっているので929万に5パーセント上乘せしてもこの金額にならないのですが。

維持管理課長

時効適用で10年前まで遡ります。平成19年から精算を始めます。一律でかけては計算がありません。

岡本委員長

複利の計算ですか。

維持管理課長

10年前の利息が高いですが、2、3年前では安いので単純計算は出来ません。

笹田委員

分かりました。10年より前はどのくらいありますか。

維持管理課長

中電さんは報告いただいて約40年前からあったとのこと。N T T

笹田委員	さんからは過去何年前からか報告いただいていません。
維持管理課長	相当な損害が市に出たと思います。今後の対策を講じていかないといけません。何かされましたか。 現実、数量を把握するのは事業者の方の申告に頼るしかありません。しかし、新聞にも出ていますことを踏まえ、担当部署の認識は高まったと思います。認識不足も原因だったとの答弁が、業者さんからありました。社内教育をして対応するとの返答もありました。きちんと対応してくださいと、窓口で対応するしかないと思います。
笹田委員	地中も架線もあります。限られた業者です。年に数回の聞き取りなどやるべきだとも思います。道路を管理している以上そこまでやるべきだとも思います。1、2年に1回でも協議する等、必要ではないですか。
維持管理課長	占用料は先払いでいただいています。1年ずつ精算です。窓口の担当者で確認していきます。 (「なし」という声あり)
岡本委員長	昼を経過しましたが、あと少しなので続けさせていただきます。 (7) について委員から質疑はありますか。
牛尾委員	レッドゾーンの対象家屋は何軒くらいですか。
維持管理課長	対象区域は地図上では把握していますが、対象家屋は把握できていません。
牛尾委員	地区だけでも教えてください。
維持管理課長	指定箇所は、浜田市全体で急傾斜地区が2399カ所、レッドゾーンの土石流が436カ所です。
岡本委員長	他にありますか。
岡本委員長	(「なし」という声あり) (8) について委員から質疑はありますか。 (「なし」という声あり)

(9) その他

○三隅発電所2号機本体工事の開始について

岡本委員長	執行部より1件あると聞いております。 三隅発電所2号機本体工事の開始について。産業政策課長。 (以下、資料をもとに説明)
産業政策課長	説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
岡本委員長	これだけ大工事になると市内の資材が相当出ていくと思います。コンクリートは益田市からとも聞いていますが資材の割合など取り決められているのですか。
笹田委員	生コンはどうしても浜田・益田からの調達になるそうです。割合についてはわかりません。
産業政策課長	浜田市の火力発電所なので、できれば浜田市内の業者を使って欲しいと思います。そういったことを調べられてぜひ浜田市のほうでやっていただきたい。
笹田委員	その点については何かの機会に、浜田市として要望していきたいと思っています。
牛尾委員	2号機の100万キロワットが稼働し始めると、例えば県内の電力需要、

産業政策課長

どのくらい余剰が出るか分かりますか。最近、風力の話もあります。石炭より単価が高いはずですが、我々の電気代に全て乗る可能性があります。クリーンエネルギーという名前はいいですが料金アップの風力もあるわけなのですが、基礎的な数字をお持ちですか。

三隅支所長

三隅発電所地域経済対策協議会総会にて、中電から説明があった資料によると、平成29年度実績で電力量は81億2300万キロワット。県内販売が約52億9800万キロワット。かなりが県内に回っています。

記憶だけで申し上げると、中国管内で言うと800万キロワットや1000万が1日で必要で、そのうち200万キロワットを浜田市で電力供給している。中国管内で必要な量の4分の1を担っているのも、大変ありがたいとのこと。松江も合わせると、中国地方で必要な電力量の半分を島根県で生んでいる計算になります。

岡本委員長

その他、執行部から何かありますか。

(「ありません」という声あり)

委員からその他ありませんか。

(「なし」という声あり)

それでは、ここで執行部からの報告事項(9件)について、全員協議会へ(①そのまま提出し説明すべきもの、②資料配布のみとすべきもの、③提出の必要はないとするもの)の決定をしたいと思います。

産業政策課長
岡本委員長

執行部側の意向を報告いただきたいと思います。産業政策課長。
(執行部側の意向を説明)

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

それでは、そのように処理していただきたいと思います。

- (1) 資料配布のみ
- (2) //
- (3) //
- (4) //
- (5) 提出なし
- (6) 資料配布のみ
- (7) 説明あり
- (8) 資料配布のみ
- (9) //

岡本委員長
笹田委員

その他ありますか。

ふるさと体験村の施設管理は引き続きやっていくとのこと。管理体制は今後も含めてどのようにされるのかお聞きします。

弥栄産業建設課長

10月から全面休止にしています。10月については臨時職員も3名いましたが、1名は本庁に、1名は弥栄支所に、残り1名と私どもとで、施設の備品整理等で1ヶ月対応しました。その後、体験村が地区の一時避難所に指定されているので、最低使用する公民館、交流館、屋外トイレ等を含め、最低限使用できるよう電気、水道、浄化槽などの保守管理していく予定です。ログハウス等使用が見込めないものは水道光熱を止め

岡本委員長

ます。そのかわり施設を使わないといっても管理する必要がありますので清掃などはパート職員などを雇用して管理していきたいと思います。

他にありますか。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

それでは、執行部の方はここで退席されて結構です。

《 執行部退室 》

2. その他

岡本委員長

その他で、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

以上で、産業建設調査会を終了します。皆さんお疲れさまでした。

[12 時 18 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 岡本 正友 (印)